

虫が死ぬほど国産米に

国の検査で、コメから3つのネオニコ農薬が検出されていました。虫が死ぬほどジノテフランが残留していた玄米が複数あるので、コメは、農薬の心配がない有機米を食べてください。

消費者が受け入れられない農薬

ネオニコチノイド系の7農薬は女性に大敵。子宮や卵巣に悪影響を与えるからです。

チアクロプリドは、子宮ガン、卵巣ガン、甲状腺ガンを発生させると国が認めています。

肝臓に負担をかけるので、^{のんべい}呑兵衛にも大敵。国は、チアメトキサムが肝臓ガンを発生させるが、少ないから大丈夫としています。

ネオニコ農薬は浸透移行性が高いので、粒剤を田畑に撒いておけば、作物についた害虫が死にます。

使用回数を年に2~3回に減らすことできるほど「優れた残効性を有する」のですが、これは残留量が多いことです。

「食べ物でなくなった」日本のコメ

国の残留農薬検査では、コメから3種類のネオニコ農薬が検出されています。

ジノテフランは0.1ppmを超えるものが複数あります。このコメを虫に食べさせると、虫は死にそう。私たちは、こんなコメを食べるようになっていたのです。

ネオニコ農薬は散布が楽です。しかし、害虫が死ぬほど毒が含まれた作物を食べさせられる消費者にとっては、嫌な農薬です。

「食べ物ではなくなる」という本質的な問題が見逃され、「減農薬」として良い評価をされて、ネオニコ農薬の使用が増えました。

輸入米は2~3割から、収穫後に使用されたポストハーベスト農薬が検出されますが、ネオニコ農薬は検出されません。

稲作がダメになると日本農業が壊滅と言われていたので、私たちは農水省やJAに、ネオニコ農薬を稲作に使わないよう働きかけています。でも力不足。

みんなで声を上げ、情報を広めて、こんな農薬を使わせないようにしましょう。(小若)

米(玄米)の残留農薬等検査結果

検査年度	イミダクロプリド		クロチアニジン		ジノテフラン	
	検出数 / 検査数	検出範囲 (ppm)	検出数 / 検査数	検出範囲 (ppm)	検出数 / 検査数	検出範囲 (ppm)
平成 24 年度	2/121	0.002-0.012	6/108	0.01-0.05	6/28	0.01-0.093
平成 25 年度	0/139	—	7/137	0.001-0.06	1/22	0.12
平成 26 年度	0/124	—	10/123	0.001-0.09	7/20	0.01-0.11
平成 27 年度	0/120	—	2/114	0.03-0.05	5/19	0.01-0.14

(厚生労働省ホームページより)